

令和4年度 事業報告書  
左京東部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

## 1. 管理運営の状況

### 1 施設運営業務

#### (1) 職員体制

センター長 1 名、職員 8 名（常勤 2、非常勤 6）

##### 【人材育成の取組】

- ・ 来客対応、心構え、緊急時対応に関する研修会を年 2 回開催
- ・ 事業に関わる職員については、別途個別に研修を実施

#### (2) 貸館等

##### ア 利用件数

(月別)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
615	556	573	569	484	521	575	487	428	381	516	556

(年間) 6261 件（前年度比 75%）

##### イ 利用状況

- 利用料の値上げに伴い、利用件数は前年比 25%減少し利用時間数においては前年比 27%減少と利用件数ベースよりも多くの減少が見られた。料金の値上げに伴い利用時間の節約が図られたためと考えられる。
- 利用料金制に伴い、申請をデジタル化し申請時間を短縮するとともに、申請者、受付者双方の手続きの省力化を図った。

##### ウ 利用促進に向けた取組

- SNS を活用した情報発信を活発化させ、センターの認知度を高めるとともに、関心を喚起する働きかけを行っている。（詳細は情報発信の報告に記載）

##### エ その他

- サロンについて  
コロナ以降訪れる方が減った上に、高齢化の進行で施設に入られるなどで来館できない方も増え、利用者は前年より 64%減り著しい減少となった。占有利用はコロナの影響が減ったことで、昨年より増加した。

### (3) 情報発信等

#### ア 取組実績

- SNS の発信当番を決め定期的に情報発信するとともに、情報発信の成果分析についてはデーターを元に情報の広がり管理している。例) ツイッターにおいては「インプレッション (ユーザーがツイッターでツイートを見た回数) 数値」、「エンゲージメント率」(クリック、リツイート、返信、フォロー、いいねの数をインプレッションの合計で割った数値) およびフォロワー数の推移をほぼ毎日チェックし、それに基づいて発信内容を工夫している。(これらの数字が向上するような内容の発信および、広がりやすい内容の発信に努めている。
- 地域などに貢献度の高い市民活動を行う方にインタビューを行い、冊子にして紹介するとともに、インタビュー映像をホームページで公開している。
- いきいき通信を発行した。

#### イ 取組の効果

- SNS の情報発信強化によって、フォロワー数などの増加がみられ認知度が上がっている。

### (4) 管理運営

- 消防設備・建物の点検を実施するとともに、不備箇所について修繕を行った。日常的に清掃を行い、年数回大掃除。植栽の手入れ備品等の保守点検、修繕等を実施。

### (5) その他

- サロンの活用事業などで学区社協および隣接する錦林保育園と連携し事業を実施した。団地再生計画が進む中、まちの記憶をアーカイブするため大谷大学と共同で地域の住民4名に聞き取りを行った。

## 2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

### 【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み1 『多様な交流の促進事業』(市民活動支援・活性化事業、)

#### 事業の概要

- 1 開催日時：令和4年4月29日18時30分、30日14時および18時30分 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 集会室 等
- 3 参加人数： 408名
- 4 協力団体等： NPO法人ココペリ121 等
- 5 予算： 2,534,900円 / 決算： 2,101,526円

#### 1 事業内容

○左京東部いきいき市民活動センターを、利用団体、地域団体などとの交流の場として機能させるべく各種文化交流事業を開催した。プレイベントとして、プロの演出家を招聘して市民劇の上演を実施。秋の文化祭として高齢者市民による演劇の上演、シニアからダンスを始められた方によるクラシックバレエの公演、センター利用者による音楽の演奏、民族舞踊と国際交流イベントを開催。春の文化祭としてセンタ利用者による多彩な催しの発表、子供向けワークショップを開催した。

観客や、出演者と直接語り合える時間を設けた。

○昨年「情報の発信については、一方向の発信だけではなく、連携する団体や関係機関との双方向のつながりなどにより、さらに広域的に幅広い層へ情報を発信していただきたい。」と指摘を受けたが、この文化祭を通じ各団体と連携して情報を発信した結果、幅広い宣伝効果があった。

#### 2 準備段階での工夫

○センター利用団体さん等とコミュニケーションをとり、対象者や内容のバランスも見極めた上でプログラムを実施した。

○集会室を防音・遮光し劇場のように照明や音響の効果が演出できるよう工夫した。

#### 3 事業実施による効果・達成度

##### (1) 当初の事業効果、目標等

○利用者どうし、センターに足を運んだことのない方、地域住民など多様な人たちが交流を図ることができたと同時に、センターの認知を高めることができた。わざわざ東京のハンガリー大使館から文化担当者が来てくれるなど、思わぬ広がりもあった。

##### (2) 事業実施による目標の達成度

○コロナの影響があり当初予定していた来場者数には届かなかったものの集客率80%を超える、多くの来場者にお越しいただくことができ、概ね目標を達成した。

○いただいたアンケートによると、238回答中(回収率58%)「とても良かった」もしくは「良かった」と回答した人が217名(91%)と非常に高く、記述式の回答でも「文化のかおりすごい!!このような企画でとても楽しくうれしいです。」のような肯定的な回答を数多くいただくことができた。

#### 4 今後の抱負

○より多くの来場者が来られるようボランティアスタッフを増やすなど運営体制を充実させていきたい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

**【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み2『市民への聞き取り事業』**  
**(市民活動支援・活性化事業)**

事業の概要

- 1 開催日時：パネル展示：2月13日～2月26日左京西部にて／3月6日～3月10日左京東部にて等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 聞き取りボランティアおよび学生8名／来場者多数
- 4 協力団体等： 大谷大学社会学部 等
- 5 予算：879,700円 / 決算：879,260円

1 事業内容

○錦林市営住宅および、養正市営住宅団地にお住いの方（以前に暮らしていた方）に聞き取りを行い、それを冊子にまとめつとともにパネルにし展示した。聞き取りのテーマは「思い出の風景」。聞き取りにあたっては、大谷大学社会学部の学生や先生等と共同で実施。聞き取りに参加する学生には、聞き取りのための研修としてコミュニケーションワークショップを実施するとともに、聞き取りにあたって現場で指導を行なった。

2 準備段階での工夫

○聞き取りにあたっては海外からの留学生2名を含む学生さんや、ボランティアに協力いただき、そうした方々が地域の歴史などを知るきっかけとなることを意図した。また、そうした人たちが地域の方と多世代をまたいで交流できる機会を作れた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

○まちの記憶をアーカイブすること。地域内外の交流、多世代の交流を促進すること。団地再生計画で変わりゆくまちの歴史と今をアーカイブし、広く市民と共有すること。

(2) 事業実施による目標の達成度

○普段あまり気に留めない市営住宅のことや、そこに暮らす方々の声をセンターに来られる多くの方と共有でき、まちの風景や歴史について知っていただく機会となった。また、こうした貴重な声をまちが変わってしまう前に冊子にして残すことができた。

○学生さんや担当の教員からは、街の思い出とともに差別に関わる歴史や、まちの経緯など普段なかなか聞くことのできない生の声を聞くことができたことができたことが学生にとって学びにつながったという声をいただいた。

4 今後の抱負

○今回はまちの風景にまつわる思い出を語っていただいたが、今後はテーマを変え違う側面からまちの記憶を残していきたい。予定していたより、思いの外時間がかかったので余裕を持った計画で実施したい。

## 事業風景の写真

### 左京東部での展示風景



### 左京西部での展示風景



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

**【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み3 『文化ボランティア育成事業』（市民活動支援・活性化事業）**

事業の概要

- 1 開催日時： 5年1月28日12時30分～13時30分、2月11日14時～15時 ボランティア研修会 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 登録ボランティア4名
- 4 協力団体等：
- 5 予算：330,400円 / 決算：330,400円

1 事業内容

○事業の運営を支え、協力してくれる「文化ボランティア」を募集し、研修を行い当センターが主催する文化関連の事業において受付等の手伝いなどボランティア活動を行っていただいた。

2 準備段階での工夫

○公募をかけるだけでなく、いい取り組みをされている団体さんに紹介いただく方法をとって募集をおこなった。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

○15名の目標でボランティア登録者を募り、4つの文化事業の運営に関わってもらう計画

(2) 事業実施による目標の達成度

○登録者は4名にとどまった。

○引き続き次年度も関わっていただけることになった。

4 今後の抱負

○募集の難しさを知ったので、何らかのインセンティブが得られ、充実感や楽しさが得られるような工夫をして登録者を増やしていきたい。



## 事業風景の写真

### <活動風景>



令和5年2月23日開催の『影絵人形を作ろう』で人形づくりの補佐をおこなう。(左手奥立っている2人)



令和5年3月25日開催の『影絵とアートと交換会』で子供の見守りをする。(右手奥帽子の女性、右手前立っている男性)

※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1『サロンに集おう』（「影絵人形を作ろう」、「影絵とアートと交換会」）（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和5年2月23日10時～12時：影絵人形を作ろう 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： 大人37名 こども59名
- 4 協力団体等： すわるばきつず（影絵制作指導・上演） 等
- 5 予算：1,008,000円 / 決算：1,006,330円

1 事業内容

○錦林東山学区の社会福祉協議会、錦林保育所と連携して、サロンにより多様な方が集える事業を実施した。高齢者が集って手作業をおこなう『影絵人形を作ろう』および『子育て中の親子の交流事業』として、おもちゃ、絵本、衣服など子供用品の無料交換会を実施するとともに、『影絵人形を作ろう』で制作した影絵の上演、および廃材を使った親子向けアート講座を実施した。

2 準備段階での工夫

○事業には「文化ボランティア育成事業」で登録してくれた、ボランティアが関わってくれ、地域団体と協力して実施した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

○高齢者向け講座10名・子育て中親子の交流事業延べ30名の来場者を見込んだ。

(2) 事業実施による目標の達成度

○来場見込みを大きく上回る来場者にお越しいただくことができた。

○高齢者から小さなお子さんまで幅広い方がサロンに集まり、交流するとともに楽しいひと時を過ごすことができた。社会福祉協議会や錦林保育所と連携して事業に取り組むことができ、双方に喜んでいただけた。アンケートは非常に好評で95%以上の方から大変満足・満足の回答を頂いた。「影絵劇、工作、子供用品交換など、大人も子供も予想以上に楽しめました！ありがとうございます。また来たい！」などの声を頂いた。

4 今後の抱負

○準備に時間を要したこともあり、催しが年2回にとどまった。今後は回数をもっと増やすことサロンを活性化したい。

## 事業風景の写真

居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1 『サロンに集おう』風景  
「影絵人形を作ろう」



「影絵とアートと交換会」

影絵上映風景



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

**【事業名】市民の社会関与を促進する事業 取り組み1『市民活動団体活動勉強会』（市民活動支援・活性化事業）**

事業の概要

- 1 開催日時：2023年2月27日～3月20日 複数回ヒアリングおよび取材 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター サロン 等
- 3 参加人数： 映像の視聴者数回数 11回／レポート（冊子）はセンター等で500部配布
- 4 協力団体等： 実行委員会形式で行った場合はその団体名 等
- 5 予算：898,000円 / 決算：898,230円

1 事業内容

○子ども食堂など社会福祉活動をする団体にヒアリング調査を行い、地域の課題の実情を把握する。また、ヒアリングした内容や活動を映像で記録し編集の上インターネットで紹介するとともに、紙媒体でのレポートも作成し、センター等で配布する。

○「地域で活動する市民の力と出会うことは、その活動を支援していくというセンターとしての重要な役割・機能であるため、今後もこのようなポテンシャルのある市民との接点を増やす取組を期待したい。」という意見に対して、意欲的な市民と出会うきっかけを作った。

2 準備段階での工夫

○冊子だけではなく、映像で紹介することで広がりを狙った。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

○視聴者数200名を目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

○完成が年度末だったことと、宣伝が行き届いていないこともあり視聴者数はまだ11名にとどまっている。冊子は行事などでも広く配布している。

○映像を見てくれた人からは高評価が帰ってきている。

4 今後の抱負

○シリーズ化をしようとしており、vol2、vol3 と数を重ねることで広がりをうみ、視聴回数などもアップすることを目指している。

### 3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

- 1 利用料金の収入実績  
令和4年度実績 : 7,498,820円 (前年度比ー)  
内訳 会議室等 : 7,310,000円  
付属設備 : 92,900円 ※自主事業分を除く  
ロッカー : 95,920円
- 2 管理運営に係る経費の収支決算  
別紙収支決算書のとおり

### 4. 施設の利用者満足度の把握

- 1 利用者満足度の把握状況
  - (1) 全センター共通窓口サービス調査  
【実施時期】 令和4年11月実施  
【調査項目】 窓口サービス
  - (2) センター独自アンケート  
事業実施時にアンケートを実施
- 2 利用者満足度把握の結果
  - (1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
61.5%	37.8%	0.7%	0%	0%
  - (2) センター独自アンケート  
○事業におけるアンケート調査 : 回答の9割以上が「満足」「大変満足」であった。
- 3 意見等への主な対応状況  
○ 利用者からの意見で対応したものを記載してください。
  - ・ 利用後に自分たちで掃除ができるような道具を揃えて欲しいです。
  - ・ 多目的ホール横の物入れスペースの整理をお願いしたいです。

### 5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。
- 予算が減ったことでマンパワーが不足する中、業務の執行体制を合理化することで、前年度に劣らぬ事業を展開できたことは良かった。合理化については利用者の受付業務においてデジタル化を図り利用者の手間や受付・事務処理にじかかる時間を短縮したり、清掃については各部屋などに表を貼り付け、だれがいつ清掃を行ったかをみえるかし一定の成果を上げることができた。
- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。
- 利用料収入の安定化が図られないことには、マンパワーの確保も難しくスタッフ一人当たりの負担も増してしまう。利用者の増加と収入の安定化が喫緊の課題。
- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。
- 宣伝・広報の一層の充実。

## 6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

特になし。